

令和7年度 第1回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年4月8日(火) 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、奥山 和子、笹野 訓子、鈴木 千穂、
向坂 美保、片倉 美咲、本家 美佳
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 鈴木 充弘(佐久間支所地域振興グループ長)
長谷川陽子(佐久間図書館)
大見 芳(NPO法人がんばらまいか佐久間 理事長)
- 6 学 校 小出 義幸(校長)、鈴木 政晴(教頭)、高原 英樹(教務主任)
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 9 議長の選出
司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 10 会議記録
委員総数7名のうち7名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
また、平賀むつみ委員退任に伴い、高氏会長から笹野訓子委員を副会長に指名する旨報告があった。
- 11 熟 議
(1)学校運営の基本方針について(校長)
議長の指示により、校長より別紙資料に基づき学校運営方針について説明があった。説明の後、以下の熟議を経て、全員意義なくこれを承認した。
○令和7年度学校評価項目の修正について
保護者から「わからない」との回答が多かった「授業で学んだことを他教科や日常の場面で活用しているか」を「生徒は授業で学んだことを日常生活などで生かそうとしている。」に修正。
○グランドデザインの修正について
・「前始末と協働」→を「連携と協働」に修正。
・「ティーチャーからファシリテーターへと変容する教師」を「生徒を効果的に「支える」ことができる教師」に修正。
○佐久間中学校いじめ防止基本方針について
別紙資料により、いじめ基本法と浜松市の基本方針に則った記述になっている。
学校ホームページにも掲載している。

(委員、オブザーバーより)

- ・ 前回の熟議が、学校基本方針やグランドデザインに反映されてよい。(高氏会長)
- ・ インターネット上でグループラインに入れてもらえないといった問題が生じる可能性が考えられる。学校では分からないこともある。子供にとって深い傷にならないよう、早期に発見するのが望ましい。(奥山委員)
- ・ 自分が悲しかったり辛かったりした思いを「お母さんこうだったんだよ」と言ってくれる子供はよいが、自分だけで我慢してしまう子供だとなかなか見つけにくい。(本家委員)
- ・ 早期に見つけるためには、子供の小さな変化に気づく必要がある。保護者、教員、地域とのコミュニケーションを常にとることが重要だと思う。(高氏会長)
- ・ 思春期は親に相談できない難しい年頃。親の見えないところで問題が起こってしまう。見張るのではなく、連携が必要だと感じている。「あれ？」と思うことがあったらその都度の対応が大切だと思う。(笹野委員)
- ・ 浜松いじめアンケートでは、ウェブで相談やカウンセリングが受けられると聞いたが、どのようなシステムか。(奥山委員)
→浜松いじめアンケート(教員を介さない)はタブレットアンケート形式で設問項目があり、回答によってその生徒の傾向が示されるといった内容。生徒がどのような課題を抱え、どのようなフォローができるか把握できるよう設計されている。(校長)
- ・ いじめ対応も、委員一人一人が引き続き関心を持ち、深い傷となる前に早期発見しフォローできたらたによいと思う。(高氏会長)

(2) 本校の学校運営上の課題について(校長)

議長の指示により、昨年度の協議会を踏まえた今年度の取組について説明があった。説明の後、以下の熟議を経て、全員意義なくこれを承認した。

○生徒の実態から

やさしく素直で地域を大切に思う気持ちが強く、STリサイタルでは充実したハイレベルな研究発表がみられる。半面、自分で判断して働きかける、自分の考えや思いを表現できるといったところに消極的傾向がある。生徒同士の主体的な関わり合いを重視した活動を取り入れていく。

○休日部活動の地域移行について

中学生が休日にスポーツを楽しめるよう、弓道、ソフトテニス、陸上を中心に部活動の地域移行を行う「佐久間地域スポーツクラブ(仮称)」の立ち上げを目指し、運営協議会を母体に、一年間試行期間としたい。

(委員、オブザーバーより)

- ・ ソフトテニスは生徒が1名のため、他校(水窪中学校6名)との合同も考えているが、

学校が異なることで試合には出場できないといった問題も起こる。高校野球等は合同での出場が可能だが、中学も今後の検討課題としてほしい。(片倉委員)

- ・ 他クラブ、他校、また地域との合同も考えたらどうか。弓道の場合は部活以外に地域登録をし、両方の試合に出場が可能な状態にしている。テニス部や吹奏楽クラブの生徒が弓道やテニスをしてよいのではないか。(鈴木委員)
- ・ 体育協会佐久間支部とも相談したらどうか。(大見オブザーバー)
→現在の体育協会は活動をしていないので協力は難しいのではないか。(高氏会長)
- ・ 複数の競技に参加してもよいのではないか。生徒の経験も豊富になり体力の増進、強化につながるとともに何よりも楽しいのではないか。(笹野委員)
- ・ 現段階では、部活動の地域移行に関して議論する場が学校運営協議会しかないため、母体となることができるかを含め、協議会を議論する場としていくことでどうか。(高氏会長)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について(教頭)

夢を育む学校づくり推進協議会より、学校運営委員会の基本の方針を具現化するための意見書として提示された資料に基づき説明があった。昨年度の総合的な学習における「地域に関する学習」で、生徒がそれぞれ設定した課題解決のための活動を行うための移動手段として、貸し切りタクシーを2台準備できたことが学習の効率を高め充実につながった。本年度も同様の活動を実施したい旨の説明があり、全員意義なくこれを承認した。

12 報告

○職場体験について(教頭)

- ・ 奥山委員、向坂委員によって調整を進めていただき、2年生全員が第1希望の事業所へ職場体験に行くことになっている。
- ・ 佐久間図書館では2日間に分け3名の受け入れが決まっている。(長谷川オブザーバー)

13 連絡

- ・ 別紙 年間行事予定表にて授業参観可能日の案内。
- ・ 今年度の学校運営協議会の日程(年間4回)。
- ・ 次回会議は、6月10日(火)総合的な学習における各生徒の探究活動アドバイザーとして参加後、午後2時30分から佐久間中学校会議室にて開催予定。